

指導展開例 危機管理局作成の防災教育デジタル教材「地震の備え」を活用した授業	小学校
	第5学年
	特別活動

1 教科・学年 学級活動（2） 第5学年

2 単元名・題材名 「大きな地震に備えよう」

3 授業の位置付け

令和5年度に配付予定の「危機管理局作成の防災教育デジタル教材(パワーポイント)」を活用して、地震時の避難訓練の事後指導として実施する。

4 本時の目標

大きな地震でどのようなことが起こるかを予想し、どのような場所にいたとしても自分の身を守るための安全な行動の仕方を意思決定することができる。

5 本時の展開

	子どもの学習活動			教師のかかわり	
つかむ	<p>1 大きな地震でどのようなことが起こるかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント『地震発生のしくみ』を見ながら、なぜ地震が起こるのかや建物の外や中でどのようなことが起こるかを知る。 ・『実際の地震』の動画を視聴したり、『震度』についての説明を聞いたりする。 <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大きな地震が起こったとき、どのように行動するとよいのかな？</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材の画像や「震度はゆれる大きさ」の部分を拡大して黒板に貼り、イメージを膨らますように説明する。 ○気分が悪くなった場合について指示しておく。 	<p>セルフチェック1 (興味・関心・疑問をもてる)</p> <p>パワーポイントの画像を見て大きな地震が起こったときの被害のイメージを膨らませる。</p>
さぐる	<p>3 学校で大きな地震が起こったら、どのようなことが起こるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中で起こることを考えて発表する。 	<p>5 家で大きな地震が起こったらどのようなことが起こるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の中で起こることを考えて発表する。 	<p>7 コンビニで大きな地震が起こったらどのようなことが起こるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの中で起こることを考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材を活用しながら「学校」「家」「コンビニ」の3つに分けて、どのようなことが起こるかを具体的に考えるように問いかける。 	<p>セルフチェック3 (見通しをもつ)</p> <p>それぞれの場所の被害状況がわかるイラストを提示して、具体的に考えられるようにする。</p>
見付ける	<p>4 学校で大きな地震が起こった時の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱いラーメンの汁が入ったカップが机の上にある場合を考える。 	<p>6 家で大きな地震が起こった時の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことに気を付ければよいかを考える。 	<p>8 コンビニにいる時に大きな地震が起こった場合の自分の身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニでの身の守り方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「さぐる」段階で考えたことを踏まえて、安全な行動の仕方を考えるように問いかける。 ○実際に「机が倒れないように机の脚を押さえる」という行動を体験する場を設定する。 	<p>セルフチェック5 (多面的・多角的に考察)</p> <p>場所が異なる3つの場面における安全な行動の仕方を考えることを通して、自分の命を守るためには自分で判断して行動することが大切であることに気付くようにする。</p>

決める	9 学習したことをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 安全な場所を見つけて、しゃがんで地震が収まるのを待つといいんだね。 </div>	○大きな地震が起こった時にどのように行動すればよいかを意思決定できるようにカードに書く場を設定する。
	10 大きな地震が起こった時にどのように行動するとよいかを決める。 ○安全な行動の仕方を意思決定してカードに書く。	

セルフチェック6 (学びを実感する)
 どのように行動すればよいかをカードに書いて意思決定する。

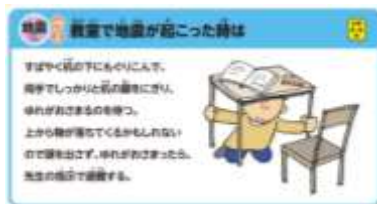
6 実施のポイント

◎つかむ1・2

危機管理局作成のデジタル教材を活用して、「大きな地震でどのようなことが起こるか」と問いかけ、大きな被害が発生することを押さえた上で、本時の課題をつかむようにする。

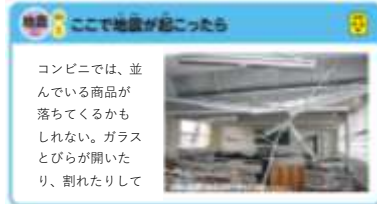


震度5弱から震度7までのゆれが具体的にどれくらいのゆれなのかをイメージできるように説明する。



◎さぐる3・5・7

デジタル教材を活用しながら、「大きな地震が起こったらどのようなことが起こるか」と問いかけ、「学校」「家」「コンビニ」に分けて板書する。



学校	家	コンビニ
<ul style="list-style-type: none"> 机が倒れる 棚の上や中のものが落ちる オルガンが動く 窓が割れるなど 	<ul style="list-style-type: none"> 本棚やテレビなどが倒れる テーブルの上の物が落ちる 食器が落ちるなど 	<ul style="list-style-type: none"> 缶やペットボトルが散らばる 熱いおでんの汁がこぼれる 物が落ちるなど

◎見付ける4・6・8

「学校・家・コンビニのそれぞれでどのように行動するか」と問いかけ、安全な行動の仕方を整理しながら板書する。

◎決める9・10

大きな地震が起こった時にどのように行動するとよいかを**意思決定**する。

学校	家	コンビニ
<ul style="list-style-type: none"> 机の下に入る(机の足をつかむ) 倒れたり落ちたりする物から離れるなど 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所にしゃがむ。 トイレに入っていたらドアを開ける 頭を守るなど 	<ul style="list-style-type: none"> 棚やガラスから離れる おでんの近くから離れる 安全な場所にしゃがむなど



7 資料

地震について知ってる？

地震が起こったら、どう行動したらよいか

12時の学校では？	16時の家では？	コンビニでは？
<ul style="list-style-type: none"> 机のものが落ちる ガラス、電球が割れる <p>安全な場所を見つけないと</p>	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、本だな、冷蔵庫がたおれる 食器、ガラスが割れる 	<ul style="list-style-type: none"> 商品、商品だな、ガラスとびらがぶつかる。 ガラスが割れる
<p>机の下 おはしも話を聞く 安全な場所</p>	<p>机の下 頭を守る 布団をかぶる しゃがむ</p>	<p>外に出る 頭を守る 割れ物から離れる</p>

過去に起こった地震を見て

- 道路が割れてる
- 怖い
- 被害が大きい

時間や場所に関わらず安全な場所を考え、頭を守る行動をするといいい